

# イベント情報

プレ企画

コンクールを盛り上げようとさまざまなイベントが行われています。一足早くコンクールの雰囲気味わいに出かけてみませんか♪♪

## ◆社の都の街角コンサート

日時	曜	内 容	会 場	開演時間と入場料
12/23	土	ヴァイオリンデュオとピアノ連弾	アエル2階アトリウム	◇いずれも
2/10	土	Non Parlo Italiano(マドリ)とオカリナアンサンブル	ザ・モール2階いこいの広場	13:30 と 15:00 の
3/10	土	ピアノ連弾	東北電力グリーンプラザ	2回
3/24	土	ユーホニューム・ホルン・ピアノ	メディアテーク予定	◇いずれも入場無料
4/14	土	フルートとピアノ	未定	直接会場へ

## ◆ホールを利用したプレ企画

(申込方法: 往復はがき・下記参照/★往復はがき・詳細未定)

日時	曜	内 容	会 場	開演時間	入場料
12/9	土	ユースクラシックオー디션本選	青年文化センター コサートホール	11:00	無料
2/18	日	(管楽器による)よくばりコンチェルト Part II 申込方法: 往復はがき/申込締切日: 2001. 1. 25(必着)	青年文化センター コサートホール	14:30	往復はがき
3/11	日	こどもの城ファミリーコンサート「五線譜の中の動物たち」	宮城県民会館 大ホール	13:30	¥2300
3/22	木	協奏曲の夕べ	青年文化センター コサートホール	18:30	有料
3/31	土	オーケストラの饗宴～若い芽による協奏曲の魅力～ No 1	青年文化センター コサートホール	14:30 予	★
4/1	日	オーケストラの饗宴～若い芽による協奏曲の魅力～ No 2	青年文化センター コサートホール	14:30 予	★
4/22	日	仙台・あの歌この歌	仙台市民会館 大ホール	15:00 予	★

### Pickup1 12月9日(土)

スリルと興奮の嵐があなたを襲う!

～ユース・クラシック・オー디션本選～

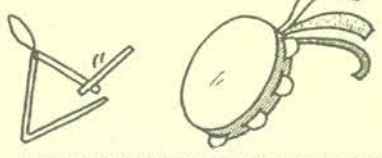
「わあ、もうコンクールのオー디션が始まるんだ」と思った、あ・な・た・の・ちがいます。

このオー디션は、来春のコンクールに先立って行なわれる「オーケストラの饗宴～若い芽による協奏曲の魅力～」のソリストを決めるもの。高校生以下の若い演奏家たちがその座をかけて競います。

コンクールやオー디션は、スポーツで言えば格闘技のようなもの。スリルとドキドキ感が味わえて(もちろん温かい応援と拍手も)、しかも無料! これはもう、行くしかないですね。

### 往復はがき申込方法

- ・往信欄: イベント名(月日)  
住所、氏名、電話番号、  
希望人数(1名又は2名)
- ・返信欄: 住所、氏名  
※申込多数の場合は抽選  
※1人1通のみ有効  
※未就学児は入場できません  
※申し込みはSIMC事務局へ



▼次号は、三月一日発行の予定です。

### Pickup2 12月23日(土)

ヴァイオリンとピアノが奏でるX'masファンタジー

～ヴァイオリンのデュオとピアノ連弾～

北風の吹く冬枯れの街角に、クラシック。ロマンチックじゃありませんか。子どもたちは冬休みの始まる日。恋人たちはクリスマスイヴのイヴ。先生も走り回る師走。こんな時にはクラシック!!

1台のピアノになんと20本の指が踊ります。忙しい足を止めて、ちょっとやさしい気持ちになれるはず・・・。

★曲目: ヴァイオリンデュオ

- サラサーテ「ナバーラ」
- ブラームス「子守歌」 ほか
- ピアノ連弾
- チャイコフスキー「くるみ割り人形」より
- ブラームス「ハンガリー舞曲」 ほか

### 編集後記

▼世界のマエストロ、ユーゾー・トヤマにインタビューという事で緊張しましたが、大変気さくに色々お話を頂き、このコンクールの意義を再認識いたしました。(黒一点)

▼外山先生は、ダンディーで素敵でした。ラオルテラス

▼このニュースを読んだ皆さんの心に、どんなメロディーが流れましたか? ぜひ声を届けてください。次号の参考のために。(ナチュラル)



# 第1回 仙台国際音楽コンクール

SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION



天才に出会う予感

# コンチェルト

コンクールニュース

VOL.1  
発行日  
2000.12.1

■発行: 仙台国際音楽コンクールボランティア ニュース班  
■事務局: 仙台国際音楽コンクール組織委員会  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-3-9  
Tel/022-715-8210・Fax/022-715-7030  
■E-mail: simc@sh.comminet.or.jp  
■URL: http://www.comminet.or.jp/~simc/

学都白楽都

## 2001年5月、 第1回仙台国際音楽コンクールが開催されます。

この仙台国際音楽コンクールは、仙台市が開府400年を記念して2001年5月から3年ごとに世界に向けて開催する、若手音楽家のための新しいコンクールです。ヴァイオリンとピアノの2部門で、オーケストラと共演するコンチェルト(協奏曲)を課題曲として競います。

さて、コンクールをみんなでお手伝いしようというのが、市民及び在仙音楽家のサポートボランティアです。活動が始まったばかりですが、みんな音楽大好き、イベント大好き!

「プレ企画サポート」は、街角コンサートなどで、明るく楽しく皆さんを音楽にお誘いします。「広報宣伝サポート」は、しおり班とニュース班に分かれてコンテスト(参加者)と観客をサポートします。

そして、皆さんにコンクールを宣伝し情報をお知らせするのが、私たち「ニュース班」です。コンクールのスケジュールや内容、プレ企画情報、その他音楽に関するトピックス等楽しいニュースを作りたいと思っています。

ポスターデザイン: 篠原良太さん

## THE 1st SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION

第1回 仙台国際音楽コンクール  
天才に出会う予感  
開催期間 2001年5月12日(土)～6月9日(土)  
会場 仙台市青年文化センター

ヴァイオリン部門 (Violin section)  
予選 5月12日(土)～14日(月)  
本選 5月15日(火)～17日(木)  
ピアノ部門 (Piano section)  
予選 5月12日(土)～14日(月)  
本選 5月15日(火)～17日(木)

チケット料金  
予選 一般/1,000円・学生/500円 (会場別)  
本選 一般/2,000円・学生/1,000円 (会場別)  
チケット 6,000円・学生/3,000円 (会場別)

主催 仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、仙台市青年文化センター  
協賛 仙台市青年文化センター、仙台市青年文化センター、仙台市青年文化センター、仙台市青年文化センター



入賞者ガラコンサート  
開催日 7月5日(木)～6日(金)  
会場 仙台市青年文化センター  
入場料 一般/2,000円・学生/1,000円 (会場別)





# ファイナリストへの道★

## コンクールスケジュール

- 出場資格  
1975年1月1日以降に出生した方
- 開催部門  
ヴァイオリン部門  及びピアノ部門 
- 構成  
コンクールは、予選、セミファイナル、及びファイナルの各審査段階で構成されています。詳しい日程は以下になっています。

○の部分に記載されている人数は選考人数です。

予備審査	2000年 10月下旬	応募された書類&任意の独奏曲(録音テープ等)による審査が行われました。 ※応募状況は別記の表をご覧ください。
	11月10日	予備審査 結果通知
オーディション	2001年	世界4都市で開催! (パリ・ニューヨーク・上海・仙台) 課題曲: 任意の協奏曲の第1楽章をピアノ伴奏で演奏します。
	1月6日~7日	パリ: 両部門
	10~12日	ニューヨーク: 両部門
	15~17日	上海: 両部門
	18, 19日	仙台(イズミティ21): ピアノ
	23, 24日	仙台(東北福祉大学けやきホール): ヴァイオリン

予選以降の会場は仙台市青年文化センターでの開催となります。

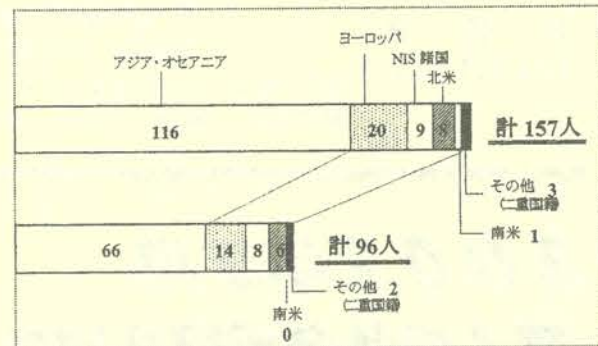
予選	2001年	課題: 独奏曲&協奏曲(弦楽四重奏伴奏)
	5月12日~15日	ヴァイオリン部門
	5月26日~29日	ピアノ部門
セミファイナル	2001年	課題: 協奏曲(オーケストラ伴奏)
	5月19日~21日	ヴァイオリン部門
	6月2日~4日	ピアノ部門
ファイナル	2001年	課題: 協奏曲(オーケストラ伴奏)
	5月25日~26日	ヴァイオリン部門
	6月8日~9日	ピアノ部門

入賞者ガラコンサート 2001年7月5・6日  
会場: イズミティ21

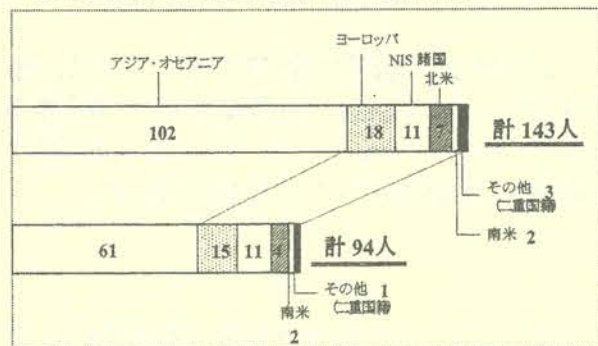
# 応募状況および予備審査の結果

世界中から多数の応募があり、両部門合わせて300名、39カ国(地域)にものぼりました。日本を含むアジアの参加が最も多く、その他ペルーやベネズエラなどの南米からも応募が寄せられ、まさにワールドワイドな展開に。これらの応募者は10月の書類およびテープ審査を経て、両部門合わせて190名、32カ国(地域)に絞られました。この後、2001年1月にパリ、ニューヨーク、上海、仙台でオーディションが行われ、各部門とも40名に絞られます。

地域別申込数と予備審査合格者数(人) ヴァイオリン部門



地域別申込数と予備審査合格者数(人) ピアノ部門



ヴァイオリン部門 地域別(上位5カ国)

地域	申込数	予備審査合格者数
日本	96	51
ロシア	7	7
中国	8	6
アメリカ	6	6
中国台北	6	3

ピアノ部門 地域別(上位5カ国)

地域	申込数	予備審査合格者数
日本	74	38
中国	11	10
ロシア	7	7
韓国	8	5
中国台北	5	5

## コンクールひとロメモ

### 協奏曲の語源

協奏曲=コンチェルトの語源はCONCERTA REというイタリア語ともラテン語ともとれる言葉から派生しているといわれています。イタリア語では「一致させる」「競り合わせる」という意味で、ラテン語では「争う」「競い合う」という意味になります。いずれにしても、協奏曲というのは、器楽合奏の種類を表すもので、独奏楽器又は独奏楽器群とオーケストラ群が協調しつつ優位を競い合うものを指します。

## インタビュー

コンクールへの抱負と期待を伺いました  
SIMC運営委員長 外山雄三氏

### 個人的には「大変なコンクールだ」と思っています

— SIMCは協奏曲で競われるというところで、相当ハイレベルの応募者が集まるのではと期待しているのですが。  
外山 結果的にそうなるでしょうね。予選からファイナルまで、最低四曲のコンチェルトを自分のものにしていないと、出場すらできませんから。ただむやみにハイレベルにするのではなく、若い才能を世に送り出したいということです。これがコンクールの最大の目的です。  
— 世界中に数多くのコンクールがありますが、SIMCは将来、世界的に権威あるものとなりうるでしょうか?  
外山 やってみたいと判りませんが(笑)。なにせ第一回目ですから。ただ協奏曲を課題曲としていること(これは他に例がない)。  
●世界的に権威の高い審査員が、偏りなく揃っていること。  
●主催団体の仙台市が並々ならぬ熱意を持っていること。  
●ヴァイオリン・ピアノ両部門合わせ三百名もの応募があったこと。  
これだけの要素があることは事実です。  
運営委員長の職権でテープ審査は全部聴きました。が、相当高い水準で、この中から将来の世界の楽壇を担う演奏家が出ていても不思議ではないという雰囲気。個人



とやま・ゆうぞう 指揮者・作曲家として現代日本を代表する音楽家。N響をはじめ一流オーケストラで指揮をとる。1989年より仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽監督



人的には「大変なコンクールだ」と思っているんですよ。  
— コンクールとは何をもち「成功」と言えるものでしょうか?  
外山 よく聴いてあげることです。予選の段階から大変面白いと思いますよ。特にセミファイナルからは我がが仙フィルも共演するし、メンバーも大変に張り切っておられる。仙台市民のバックアップこそが、成功への最大要素かもしれません。  
そして演奏家にとって、コンクールは始まりにすぎません。その後の活動をサポートするような、例えば「入賞者を仙フィルの定演に呼んでくれ」なんて声が市民から上がったなら、面白いですね。

## 共演は我がが仙フィル

コンクールに当たっては共演する仙台フィルの存在が欠かせない。世界に例をみないコンチェルトによるコンクールとなると、オーケストラなしでは成り立たないからだ。難しいコンチェルトを何曲演奏することになるのやら。団員の皆様本当にご苦労様です。でも将来、自分の子供や孫たちに「ウン十年前、〇〇さん(一流演奏家の名前)の第1回コンクールには、ワシが共演してやったんだヨ!」などと自慢できるかも。

## チケットの購入

12月11日(月)より発売開始

- 予選 一般/1,000円・小中高/500円 
  - セミファイナル 一般/2,000円・小中高/1,000円 
  - ファイナル S/3,000円・A/2,000円
  - 入賞者ガラコンサート S/4,000円・A/3,000円
  - セット券(S) 10,000円  
(予選2日分+セミファイナル3日分+ファイナルS席2日分)
  - セット券(A) 8,000円  
(予選2日分+セミファイナル3日分+ファイナルA席2日分)
- ★セット券(S)(A)は組織委員会、事業団事務局、イズミティ21のみの発売  
★入場券は全て期日指定

チケット発売  
SIMC組織委員会・仙台市市民文化事業団  
青年文化センター・イズミティ21・チケットぴあ他

## 審査員について

コンクールとなると目立たないところで一番ご活躍いただくのが審査員の先生方。SIMCは世界中から一流の先生にお集まりいただきます。

(ヴァイオリン部門)	(ピアノ部門)
宗 倫匡(審査委員長)	野島 稔(審査委員長)
ウェルナー・ヒンク	ミハル・ウ・オスクレンスキー
岡山 潔	マーティン・チャーニン
曹 鵬	クラウス・ヘルヴィッヒ
ドン=スク・カン	小山 実雅恵
ジャン=ジャック・カントロフ	練木 繁夫
ルイス・カブラン	フェレンツ・ラドシュ
ヴァレリー・クリモフ	クロード・サミュエル
ライナー・モーク	申 秀貞
藤川 真弓	楊 峻
ジェルジ・パウク	ヴィレム・ブロンズ

～デートのススメ  
オーディションへご招待～  
最近、デートしていないご夫婦や、マンネリ化を感じているカップルへ、『クラシックを生で聴くデート』がオススメです。  
① 相手には内緒で、こっそり往復おき(裏面参照)を出す。  
② 待ち合わせにはいつもと違う場所を選び(同居していても別々に出掛け)誘う。  
③ 真っ直ぐ帰らず、喫茶店などに寄り道する。  
以上の3点を実行してみてください。ちょっとした変化で新鮮な気持ちになれる!!!そんな経験ありますよね? 勿論、オーディションは無料です。  
往復はがきのあて先はSIMC事務局まで。(12/31必着) これを機に、ますますラブラブなお二人になる(なれる)ことでしょう(多分、きっと...) 